



Market Eyes No.234

日本株式市場 ～持ち合い相場から上放れのきっかけ待ち～

大和投資信託

■ 日本株は持ち合い相場が続く

➢ 日経平均株価は節目の23,000円を手前に上値が重たい一方、22,000円前後では押し目買いが活発に入るなど下値は堅い印象があり、狭いレンジでの持ち合い相場が続いている。

■ 収束後の発散に注目

➢ 直近、日経平均の主要な移動平均線（13週、26週、52週）が収束している。【図表1】過去、この3つの移動平均線が収束した直後に株価が大きく動くことが多かった。2016年初は下方向に大きく放れたものの、その他の多くの局面では上方向に大きく放れてきた。

■ 割安感が意識される水準

➢ アベノミクス開始以降、日経平均のPER（株価収益率）は15倍を中心として、おおむね13倍から17倍の間で推移してきた。【図表2】現在、日経平均のPER13倍は22,200円付近に相当する。日経平均が22,000円前後で底堅い背景には、この水準を意識した買いが入っていることも考えられる。なお、PER15倍は現状25,000円を超える位置にある。

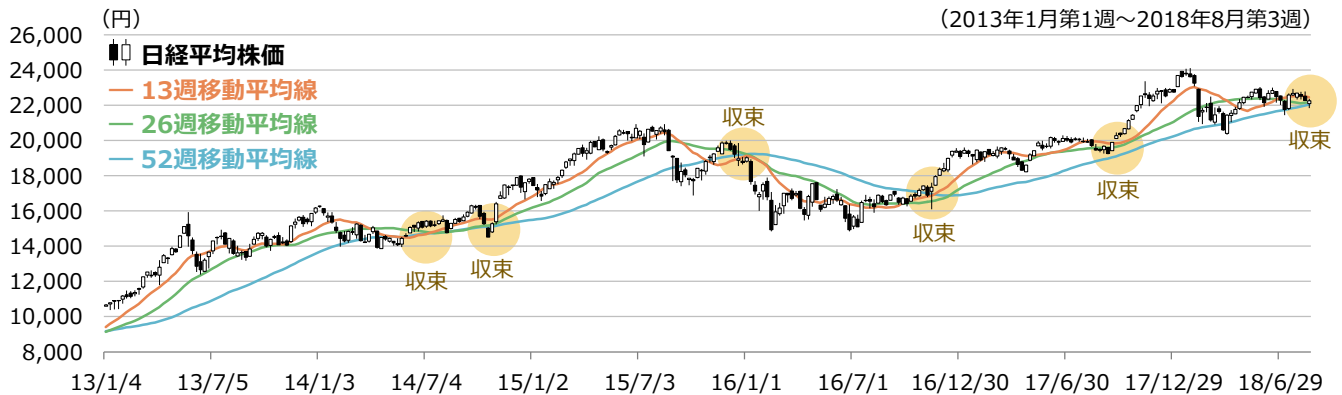
■ 上値を抑えていた要因は解消に向かい、年末高へ

➢ 日本株の上値を抑えていた要因は、主に①日銀の出口観測、②アベノミクス継続への疑念、③米国の通商政策が挙げられる。

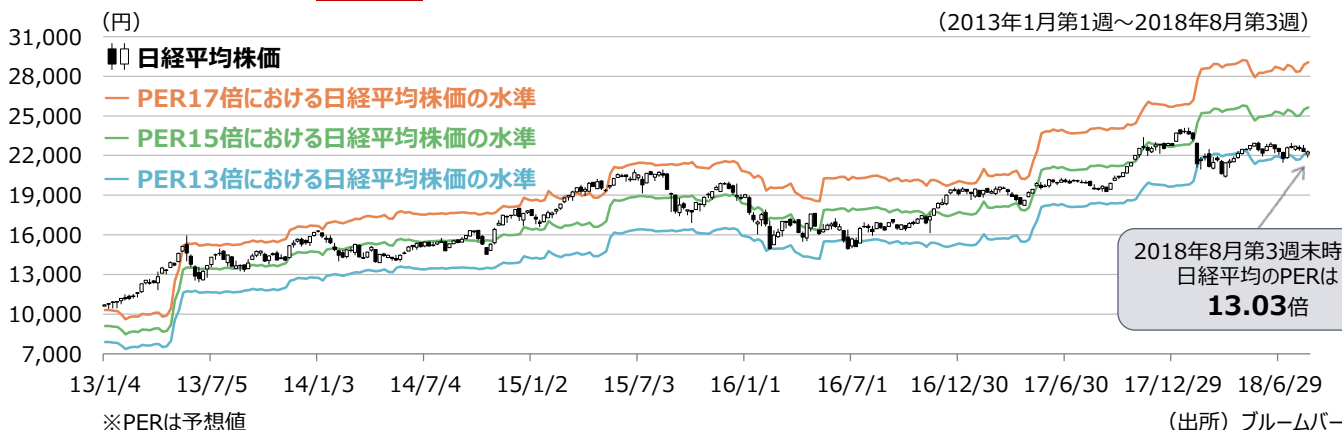
➢ ①については、7月末の金融政策決定会合で強力な金融緩和の持続性を高める措置が決定されるなど、早期の出口観測は後退した。②については、9月20日に実施予定の自民党総裁選で、安倍総理の3選がほぼ確実視されており、アベノミクスの継続を確認することになるだろう。③については、中国とのハイテク分野の覇権争いは米国の中間選挙（11月6日）後も続くと思われるが、その他の国に対する強硬姿勢は中間選挙を契機に一旦は休息に向かうと考えられる。

➢ 複数の懸念材料が日本株の上値を抑えている一方、日本企業の4-6月期決算は好調な結果が出ている。4-9月期の決算発表時には通期の業績見通しを上方修正する企業も増加することが見込まれ、日本株の割安感は一層強まることが想定される。不透明感が払しょくされるであろう秋から年末のどこかで、日本株が持ち合い相場から上放れるきっかけを待ちたい。

【図表1】 日経平均株価と移動平均線



【図表2】 日経平均株価と各PERにおける日経平均株価の水準



❗ 投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

注意点① お客さまにご負担いただく費用について

| | 種類 | 料率 (税込) | 費用の内容 | ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています) |
|------------------------------------|------------------|-----------------|---|---|
| 直接的に ご負担 いただく 費用 | 購入時手数料 | 0~3.24% | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 | 基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 最大32,400円 をご負担いただけます。 |
| | 信託財産留保額 | 0~0.5% | 換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。 | 基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 最大5,000円 をご負担いただけます。 |
| 信託財産で 間接的に ご負担 いただく 費用 | 運用管理費用 (信託報酬) | 年率 0~2.5528% | 投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。 | 基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 最大1日あたり約70円 をご負担いただけます。 |
| | その他の費用・ 手数料 | | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません) | |

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は大和投資信託が運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。投資信託によっては換金手数料をご負担いただく場合があります。※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問い合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会